

がん政策サミット2014(最終回)

～六位一体でがん対策を高め続けよう～

Cancer Policy Summit 2014

2014年5月16日(金)～18日(日)
ベルサール三田(東京都港区三田3-5-27)

■ 本サミットの目標 ■

1. 参加者が自県に戻り、六位一体でPDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルをもとにがん対策を高め続けられるようになる。
2. 第2期がん対策推進計画の目標達成に向け、分野別に目標、指標、好事例(候補)を把握し、地域および国のレベルにおいて、その実現普及のための行動ができる。

5月16日 金曜日

- 13:00 【開会】 参加者全員自己紹介
- 14:20 <休憩>
- 14:40 講演 厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課
がん対策推進官 江副 聡さん
- 【第1部】 がん対策のPDCA(計画、実行、評価、改善)サイクルに参画する**
(がん対策を高め続けるアドボカシースキルを学びます)
1. アウトカム志向のがん医療評価
東京大学大学院 医学系研究科 医療品質評価学講座 特任教授 宮田 裕章さん
 2. データから地域の現況を把握する
国際医療福祉大学大学院 医療福祉経営学分野 准教授 石川 雅俊さん
- 15:50 <休憩>
-
- 16:00 【特別プログラム】国会がん患者と家族の会(国会超党派議連)総会
「がん登録法制定の報告と、これからの課題」(仮題)
開会の挨拶 代表世話人 参議院議員 尾辻 秀久さん
「がん登録法制定の報告と、これからの課題」
事務局長 衆議院議員 古川 元久さん
参加者からの質疑応答
-
- 17:00 <休憩>
- 17:15 3. 国のがん対策指標
国立がん研究センター がん対策情報センター長 若尾 文彦さん
4. 地域医療計画におけるPDCAサイクル
厚生労働省医政局指導課 医師確保等地域医療対策室長
兼 医政局指導課在宅医療推進室長 佐々木 昌弘さん
 5. がん対策のPDCAとは 事務局
- 18:30 終了



がん政策サミット2014(最終回)

～六位一体でがん対策を高め続けよう～

Cancer Policy Summit 2014

5月17日 土曜日

【第2部】がん対策の好事例を共有する

(計画、予算、活動などから良い実例を抽出し、他県でも実現可能とします)

9:00	前日の振り返り	
9:20	セッション① 放射線療法・化学療法・手術療法の更なる充実とチーム医療の推進／ 医療従事者の育成 東日本放送制作部 副部長、前・朝日新聞社科学医療部 記者	岩崎 賢一さん
10:00	<休憩>	
10:15	セッション② がんと診断された時からの緩和ケアの推進 帝京大学医学部内科学講座 教授	江口 研二さん
	セッション③ 地域の医療・介護サービス提供体制の構築／在宅医療 日本経済新聞社大阪本社編集局社会部 次長	前村 聡さん
11:55	ランチョンセミナー 「国立がん研究センターの取り組み ―政策課題を中心に―」 国立がん研究センター 理事長	堀田 知光さん
	「国のがん対策が目指すもの ～最近の動向～」 厚生労働省がん対策推進協議会 会長	門田 守人さん
12:45	<休憩>	
13:10	セッション④ がん患者の就労を含めた社会的な問題 セッション⑤ がんの教育・普及啓発 日本女子体育大学 体育学部 スポーツ健康学科 准教授	事務局 助友 裕子さん
	セッション⑥ がんに関する相談支援と情報提供 国立がん研究センター がん対策情報センター がん情報提供研究部長	高山 智子さん
15:25	<休憩>	
15:45	セッション⑦ 小児がん 広島大学病院 小児外科 教授	檜山 英三さん
16:30	都道府県別グループワーク「地元で、次に何をすべきか」	
17:15	本日のまとめ 全体写真	
17:30	終了	
18:00	懇親会(会費制・任意参加)	
19:30	終了	



がん政策サミット2014(最終回)

～六位一体でがん対策を高め続けよう～

Cancer Policy Summit 2014

5月18日 日曜日

- 9:00 セッション⑧ がんの早期発見
国立がん研究センター がん予防・検診研究センター
検診研究部 研究員 雑賀 公美子さん
- セッション⑨ がんの予防
国立がん研究センターたばこ政策研究部長 望月 友美子さん
- 10:35 <休憩>
- 10:45 プログラム総括
議員・行政担当者・医療提供者・メディア・企業関係者 全員一言あいさつ
- 12:00 終了

【第3部】患者アドボケート活動を継続するために（患者関係者のみ）

- 13:00 講演「患者アドボケートの役割と責務」
米国患者アドボケート ポーラ・キムさん
- 13:30 自県の「六位一体のPDCA体制づくり」に患者・市民ができること(意見交換)
- 15:00 終了

「がん政策サミット」を始めとする「がん政策情報センター」のプログラムは、特定非営利活動法人日本医療政策機構 市民医療協議会の活動として行ってまいりました。2013～14年度、市民医療協議会は次の方々に資金のご支援を頂いて運営しています。

MSD株式会社、協和発酵キリン株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、
サノフィ株式会社、日本イーライリリー株式会社、Pfizer Inc.、個人

上記に加え、市民医療協議会がスタートした2008年から2012年度までの間には、次の方々にも資金のご支援をいただきました。

ファイザー財団、ファイザー株式会社、中外製薬株式会社、
バイエル薬品株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社、個人

